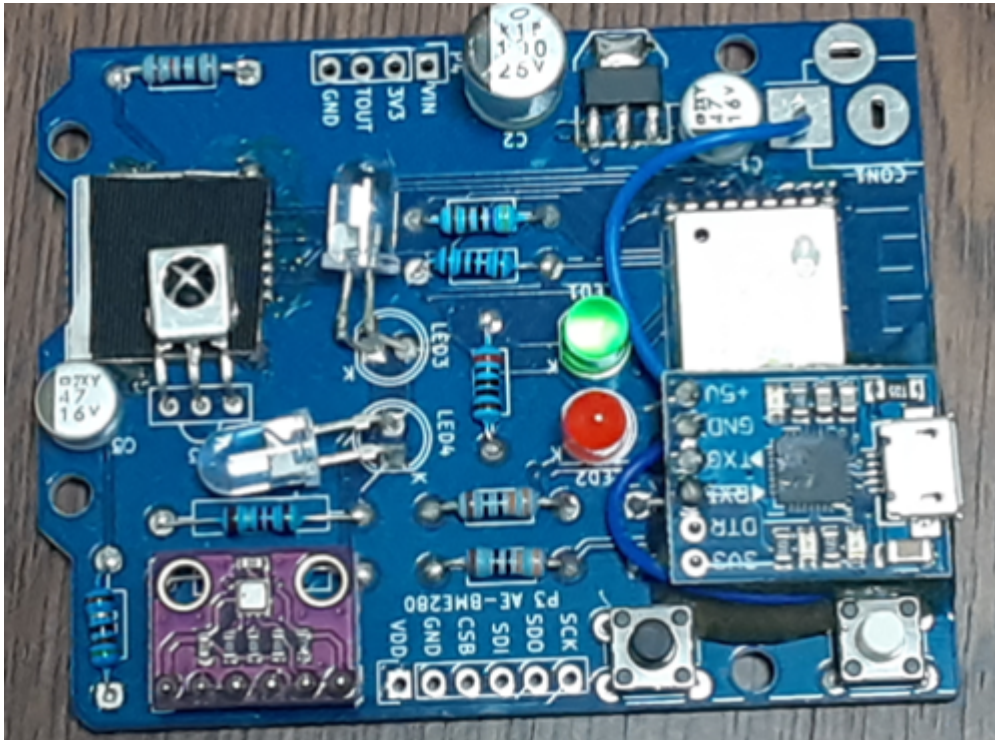


TASMOTA2 (赤外線リモコンテスト)

ESP-WROOM-02が盛り上がったところに、スイッチサイエンスで購入して眠っていたボードを使ってTASMOTA化と赤外線リモコン送受信試験を行った。

Wi-Fi + 赤外線 + 温度湿度センサ ホームIoT (ESP-IR+TPH Monitor (完成品) - スイッチサイエンス 回路図

ボードにはGY-BME280と、UART変換アダプタが実装されている。 [Amazon.co.jp: HiLetgo 5pcs高精度BMP280-3.3大気圧センサ \(BMP180 / BMP186を交換: 産業 研究開発用品](https://www.amazon.co.jp/dp/B075333333)



カスタムファームウェアの作成

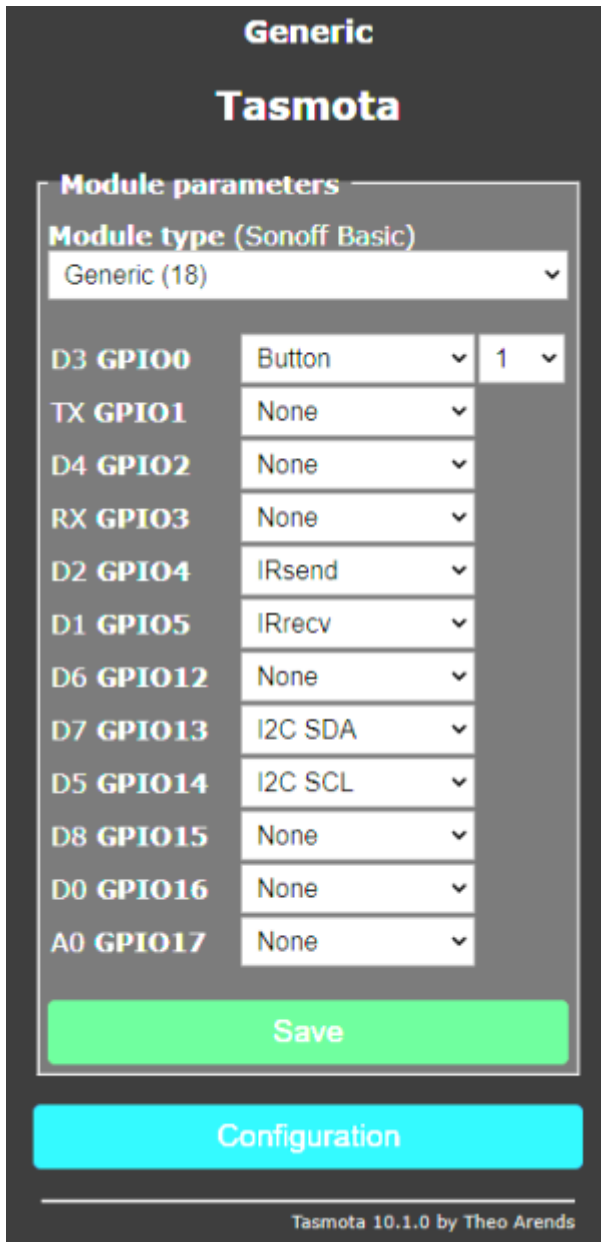
ファームウェア書き込み

tasmotizerを使用するtasmotaを参照。書き込みはcustomでfirmware.binを選択する。

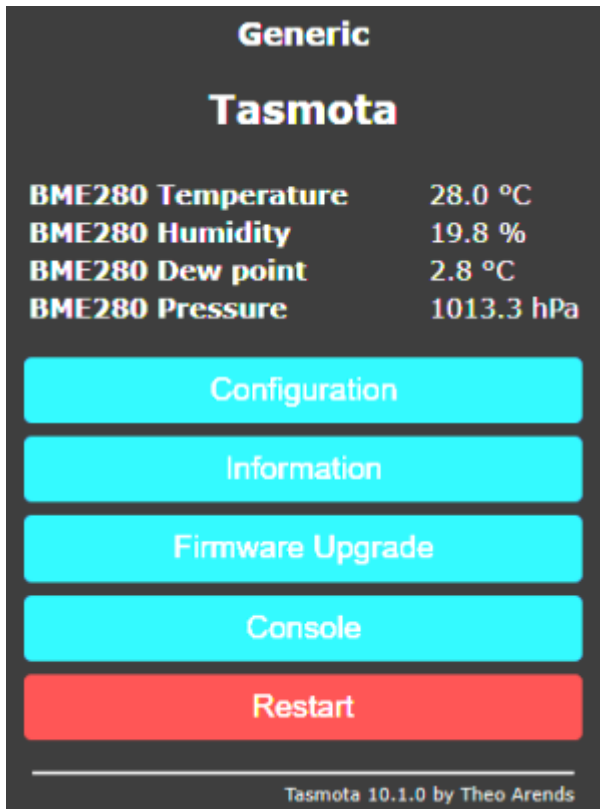
初期設定

(編集中)

ログインできたら、まずConfiguration - Configuration Moduleを選択するModule TypeをGeneric(18)に変更して再起動、その後Configuration Moduleで下記の通り指定して再起動する。



正しく設定出来たらMain Menuに温湿度が表示される。



その他は基本的なところはtasmotaを参照する。

赤外線リモコン

(編集中)

動作確認はすべてConsoleで実施する。

1. リモコン信号の受信

A. SetOption58 1と送信してRAWモードで受信できるように設定する。

関連するオプション

- SetOption29 受信フォーマットを16進数にするか、10進数にするか。(初期値16進数)
- SetOption38 信号の受信感度を指定。数値が小さいほど高感度だがノイズも拾いやすくなる。指定の範囲は6 ~ 255 (初期値6)
- SetOption58 IRRawデータのエンコード指定。従来の方式ではバッファオーバーフローして正確に拾えない。
[IRSendRAWエンコーディング-Tasmota](#) (初期値0 (オフ))

B. リモコン信号を何度か送信して、テキストにコピーする。受信すると、下記のようなフォーマットで表示される(例)。

```
09:05:49.230 RSL: RESULT =
{"IrReceived":{"Protocol":"PANASONIC","Bits":48,"Data":"0x555AF148688B","DataLSB":"0xAA5A8F1216D1","Repeat":0,"RawData":"+3555-1710+485-360+480-1210E-36
```

